



えんがく
便り

雨の日に限り

雨が上がった。明日も上天気の様様。樹齢100年にはなる白梅と南高梅は毎年たわわに実り、友人知人が集まって梅刈り。昨夏の暑さを梅ジュースで乗り切ったから、今年は多く作ろうと思う。2か月後、青空を見上げて、干し上げた梅を知人に届ける。梅の季節は雨が一番気にかかる。(名華文)

東大入学式での上野氏の祝辞がネットニュースで騒がれ、晴れやかな門出に相応しくないとの意見もあった。この国で起きている真実が語られただけに。女が男と同じ様に仕事をするのだが、男が家事をするだとかを平等だと言っているわけではない。それぞれが輝き人生を歩んでいく晴れやかな日はいつになるだろう。低い雲を眺めて思う。(すみちゃん)

近年の雨は災害に繋がり怖いイメージに変わる事もあるが、雨は天の恵み。豊富な水のある生活があたり前の私たち。水を含んだ木々の緑に癒やされ幸せを感じる。乾いた土壌に暮らす人に分け与えられたらなあと思つ。(じゅん)

雨の日は好きではない、だって洗濯物が乾



No.41

△ハモン博士のまとめ

西暦があれば元号など必要ない、などという意見もあるようじゃが、初めておめでたい気分でご元を迎える貴重な機会、日本人として大切にしたいものじゃ。慎重に検討された結果の「令和」。「和」は親しみやすい文字で元号に使われるのは20回目だそうじゃ。「令」は「立派な」「おめでたい」などイメージの良い文字じゃ。名前負けしないよう、みんなで頑張らねばならん。



問合せ先

おおぐち男女共同参画懇話会 (地域協働課)
☎ 95-1691

かない。しかし今の時代、困れば乾燥機がある。乾燥機が嫌なら少々多めに脱水し、優れた部屋干し用洗剤で何とか乗り切る。昔は洗濯って大変な仕事だったろうなあ。「文明の利器」なんて今更だけど、洗濯機、乾燥機、ハンズライナーなんて思う雨の日。(チャーミー)

雨の日は何となく気分が落ちる。昔は外に出て行けないからだ。今は外に出て行つてくれないからだ。同じ理由、同じ結果でもその中身は変わっていくものだ。(俺)

Be Ambitious

vol.299

町内にお住まいの
20代の皆さんがリレーで登場!

よきこいに夢中

大橋 勇斗さん(垣田) H11・12・28生



よきこいが生きがいに

中学3年生の時に友だちに誘われてよきこいチームの「SANKAI 菜花」に入りました。短大でも「江南短期大学よきこいサークル飛鳥's SKR」に入り、よきこいを続けています。大口町のやる舞い大祭を始め、どまつり(日本と真ん中祭り)にも参加しています。

短大では子ども健康学科保育専攻に所属。子どもの問題に興味があり、子どもの5領域(健康、表現、人間関係、環境、言葉)について勉強しています。保育の授業をまじめに受けながら、よきこいと両立しています。先生方も自分がよきこいに打ち込んでいることを応援してくれています。

チームの副代表に

先輩が引退し、副代表になりました。経験者は自分一人なので、チームを引っ張ることができるよう頑張っています。副代表になってから、踊りの質はもちろん、舞台の見栄えも合わせて観客に伝わるよう、総合的なスキルアップを目指すように意識が変わりました。他のチームと交流し、意見をもらったり自分の踊りの弱点に気づかせてもらったりして成長することができました。副代表として、新しいことにもどんどん挑戦していきたいと思つています。

よきこいは、「生きがい」。就職後も、仕事が忙しくてもどこかのチームに所属して続けたいと思います。

